（別添資料１）

事業所名　障がい児者生活支援施設　ポケットハウス(放デイ)

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年　　月　　日

法人（事業所）理念		寄り添い育てていくポケットハウス ひとりひとりに寄り添い、個々に合った療育を提供し、楽しみながら未来へと繋げていき充実した生活を送れるようにサポートします Point①子どもたちに寄り添い創造力・探求心を育てていく　②スタッフも一緒に楽しみながら支援する　③子どもたちもスタッフも失敗を恐れず何度でもチャレンジし前へ進んでいく			
支援方針		子どもたちの興味や関心を様々な活動に取り入れます。毎日笑顔の絶えない時間と、安全安心に過ごせる場所の提供を行います。 子どもたちの自立と成長をスタッフ全員でサポートし、いつのまにか「出来る」ことを増やし、自信をもって次の挑戦が出来る環境作りを行います。 Point①自立を促す場　②家族と一緒に成長する場　③社会交流の場			
営業時間		9 時　0 分から　18 時　0 分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握と対応(バイタルチェック及び全身状態の把握を行い、異常の早期発見・対応を行います) ・生活習慣や生活リズムの形成(睡眠、食事、排泄の基本的な生活習慣の形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援する) ・基本的生活スキルの獲得(食事、排泄、睡眠、着脱等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように環境設定を行い、子どもの状態に応じて適切な支援をする)			
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上(日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動や動作の改善及び習得、筋力の維持や強化を図る) ・保有する感覚の活用(保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する) ＊バランスボール、トランポリン、ハンモック、ブランコ、スヌーズレン活動など			
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応(１人１人の認知特性を理解し、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する) ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(感覚の活用や認知機能の発達・知覚から行動への認知過程の発達・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成) ・行動障害の予防及び対応(感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う)			
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上(表情や身振りなどコミュニケーションに必要な手段を身に着け、活用できるように支援する) ・状況に応じたコミュニケーション(伝える、受け取る側としてその時の状況を把握する力や場や相手の状況に応じてコミュニケーションを展開できるよう支援する) ＊絵カードを使用した選択、意思表示の練習、物のやり取りや遊びを通しての言葉の発信の促し			
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成と安定を図る(環境に対しての安心感・信頼感、自分や他者に対する信頼感を育て、安心して過ごせるように支援します) ・情緒の安定(自分の気持ちを落ち着かせる方法を一緒に考え、自分で安定を図るすべを身に着けていく支援を行います) ・遊びを通じた社会性の促進(感覚や運動遊び、模倣による社会性の発達や対人関係の構築を支援する)＊			
家族支援		通所時の様子を随時共有し、日々の状態に応じて支援を行います。 SNSでの活動写真を共有し、活動時の様子をご家族でも共有していただいています。ご家族が参加できる行事も行っています。	移行支援	・移行先との調整や情報提供 ・移行先の受け入れ体制づくりへの協力等を実施 ＊ご本人とご家族が安心して移行できるよう支援を行います	
地域支援・地域連携		地域の行事への参加や地域の方も参加できるような施設行事も開催しています。地域の公共施設での体験活動の実施も行っています ＊相談員や保健師との情報連携や共有	職員の質の向上	職員研修や会議の実施(月1回) 外部研修の受講や資格取得等によるスキルアップの実施	
主な行事等		年度での施設行事の立案・計画 ・新年会　・初詣　・節分　・ひなまつり　・入学や卒業祝い　・お花見　・こどもの日　・プール　・ハロウィン　・花火まつり　・紅葉狩り　・芋掘り体験　・クリスマス会 ・餅つき大会　・課外活動　・クッキング　など			